

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 5 月 9 日現在

機関番号：37116

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K09172

研究課題名(和文) 職の不安定性が労働者の健康に及ぼす影響：緩衝要因の検討を含めた前向きコホート研究

研究課題名(英文) The effects of job insecurity on health among employees: a prospective cohort study including an examination of buffering factors

研究代表者

井上 彰臣 (Inoue, Akiomi)

産業医科大学・IR推進センター・准教授

研究者番号：70619767

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、職の不安定性が労働者の健康(精神的健康および冠動脈疾患の危険因子となる各種生理指標)に及ぼす影響を明らかにするとともに、これらの影響を緩衝する仕事の資源を明らかにすることを目的として、製造業(2事業場)に勤務する労働者224名を対象に、1年間の前向きコホート研究を実施した。その結果、上司の支援および手続きの公正が、職の不安定性による労働者への健康影響(とくに精神的健康への影響)を緩衝する重要な仕事の資源となり得る可能性が示された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

職の不安定性は人事労務管理(雇用管理)の問題であるため、職の不安定性による直接的な健康影響を明らかにしただけでは、産業保健スタッフが具体的な対策を講じることは困難である。本研究で得られた知見は、産業保健スタッフが職の不安定性による健康影響を軽減するために講じることが可能な対策を具体的に提示するための第一歩となり得るものであり、職場環境改善を中心とした産業保健活動の促進に寄与するものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：A one-year prospective cohort study of 224 employees in a manufacturing company (two workplaces) was conducted to examine the effects of job insecurity on health (i.e., mental health and various physiological indicators of risk factors for coronary heart disease) among employees and to identify job resources that buffer these effects. Results indicated that supervisor support and procedural justice may be important job resources that buffer the effects of job insecurity on health (especially on mental health) among employees.

研究分野：精神保健学・公衆衛生学・健康科学

キーワード：職の不安定性 仕事の資源 メンタルヘルス 生理指標 前向きコホート研究 産業保健

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

わが国では、年功序列・終身雇用制が衰退し、非正規雇用が拡大するなど、雇用の流動化が図られたことに加え、バブル崩壊以降の長引く経済不況も相まって、職(雇用)の不安定性(job insecurity)が社会問題の1つになっている。海外(主に欧米諸国)では、職の不安定性が自尊心の低下やうつ病・不安障害の発症などの精神的健康に影響を及ぼすだけでなく、主観的健康感の低下や高血圧・冠動脈疾患の発症および死亡など、身体的健康にも影響を及ぼすことが明らかになっている。

一方、国内では、職の不安定性が労働者の健康に及ぼす影響について調べた研究は限られている。また、現在のような低迷する経済状況下では、職の不安定性の問題を即時に解消することは困難であるため、職の不安定性による健康影響を緩衝する職場要因(心理社会的職場環境)についても検討し、産業保健の現場で実行可能かつ有効性の高い対策について、より実践的な示唆を得る必要があると考えられるが、このような緩衝要因について検討した研究は、国内外ともに行われていない。

2. 研究の目的

本研究では、日本人労働者を対象とした前向きコホート研究により、職の不安定性が精神的健康の悪化や、冠動脈疾患の危険因子となる各種生理指標(血圧、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、ヘモグロビン A1c など)の悪化に影響を及ぼすことを明らかにするとともに、これらの健康影響は、仕事のコントロール(裁量権、技能の活用度)、職場の社会的支援(上司の支援、同僚の支援)、役割明確さ、外在的報酬(金銭・地位報酬、尊重報酬)、組織的公正(手続き的公正、相互作用の公正)、ソーシャル・キャピタル(職場の一体感)などの「仕事の資源」(job resources)が充実した職場環境下では緩衝されることを明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

(1) 既存のデータベースを用いた検討

既存のデータベース(3,000名規模の横断データ)を用いて、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連に対する役割曖昧さ(役割明確さの欠如)の効果修飾を検討した。

(2) ベースライン調査の実施

製造業(2事業場)に勤務する労働者224名を対象にWEBによる自記式調査を実施した。職の不安定性と心理的ストレス反応およびワーク・エンゲイジメントとの関連に対する仕事の資源(仕事のコントロール、職場の社会的支援、役割明確さ、外在的報酬、組織的公正、ソーシャル・キャピタル)の効果修飾を検討した。

(3) フォローアップ調査の実施

ベースライン調査を実施した約1年後にフォローアップ調査を実施した(ベースライン調査に回答した224名のうち、169名がフォローアップ調査に回答した)。ベースライン調査のデータと統合し、縦断データによって、(2)と同様の検討を行った。

(4) パネルデータの構築

(2)および(3)で実施した一連の自記式調査に定期健康診断データから取得した各種生理指標データを統合し、パネルデータを構築した。

4. 研究成果

(1) 既存のデータベースを用いた検討

男性の正規社員では、心理的ストレス反応に対する、職の不安定性と役割曖昧さの有意な交互作用が認められ、役割曖昧さ(役割明確さの欠如)を強く知覚している者は、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連がより強かった(すなわち、役割明確さを強く知覚している者は、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連がより弱く、役割明確さの有意な緩衝効果が認められた)。一方、女性では、正規社員、非正規社員ともに職の不安定性と役割曖昧さとの間に有意な交互作用は認められなかった。尚、男性の非正規社員は、対象者数が少なかったため、解析を行うことができなかった。

(2) ベースライン調査のデータを用いた検討

心理的ストレス反応に対する、職の不安定性と上司の支援、手続き的公正およびソーシャル・キャピタルの有意な交互作用が認められ、これらの仕事の資源が充実していると知覚している者は、不足していると知覚している者に比べ、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連が弱かった(すなわち、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連に対する上司の支援、手続き的

公正およびソーシャル・キャピタルの有意な緩衝効果が認められた)。また、ワーク・エンゲイジメントに対しては、職の不安定性と手続き的公正の有意な交互作用が認められ、手続き的公正が低いと知覚している者は、職の不安定性とワーク・エンゲイジメントとの間に有意な負の関連が認められたのに対し、手続き的公正が高いと知覚している者は、職の不安定性とワーク・エンゲイジメントとの間に有意な関連は認められず、手続き的公正が職の不安定性によるワーク・エンゲイジメントの低下を抑制することが示唆された。

(3) ベースライン調査とフォローアップ調査の統合データを用いた検討

フォローアップ時の心理的ストレス反応に対する、ベースライン時の職の不安定性と上司の支援および手続き的公正の有意な交互作用が認められ、これらの仕事の資源が充実していると知覚している者は、不足していると知覚している者に比べ、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連が弱かった(すなわち、職の不安定性と心理的ストレス反応との関連に対する上司の支援および手続き的公正の有意な緩衝効果が認められた)。一方、フォローアップ時のワーク・エンゲイジメントに対しては、ベースライン時の職の不安定性と仕事の資源との間に有意な交互作用は認められなかった。

(4) パネルデータによる各種生理指標をアウトカムとした検討

研究期間中に、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が拡大したことに伴い、調査対象企業への出張が制限され、定期健康診断データの取得と各種生理指標データを統合したパネルデータの構築が大幅に遅れたため、現時点では、各種生理指標をアウトカムとした検討は十分に実施できていない。今後、各種生理指標をアウトカムとして、職の不安定性と仕事の資源の交互作用を検討していく予定である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 9件）

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣, 江口 尚, 堤 明純 | 4. 巻 40(5) |
| 2. 論文標題 職業性ストレスが労働者の認知機能に及ぼす影響 | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 産業医学ジャーナル | 6. 最初と最後の頁 93 ~ 97 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------------|
| 1. 著者名 日野 亜弥子, 井上 彰臣 | 4. 巻 9(5) |
| 2. 論文標題 上司のサポートが減ると、インスリン抵抗性の発生リスクが2倍に!? | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 産業保健と看護 | 6. 最初と最後の頁 70(446) ~ 71(447) |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Kawakami N, Eguchi H, Tsutsumi A | 4. 巻 91(4) |
| 2. 論文標題 Interaction effect of job insecurity and role ambiguity on psychological distress in Japanese employees: a cross-sectional study | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 International Archives of Occupational and Environmental Health | 6. 最初と最後の頁 391 ~ 402 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00420-018-1288-5 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣 | 4. 巻 2314 |
| 2. 論文標題 「組織的公正」が健康に与える影響 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 安全スタッフ | 6. 最初と最後の頁 32 ~ 33 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Tsutsumi A, Eguchi H, Kawakami N | 4. 巻 26(1) |
| 2. 論文標題 Organizational justice and refraining from seeking medical care among Japanese employees: a 1-year prospective cohort study | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Behavioral Medicine | 6. 最初と最後の頁 76 ~ 84 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12529-018-9756-6 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Tsuno K, Kawachi I, Inoue A, Nakai S, Tanigaki T, Nagatomi H, Kawakami N, JSTRESS Group | 4. 巻 92(5) |
| 2. 論文標題 Long working hours and depressive symptoms: moderating effects of gender, socioeconomic status, and job resources | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 International Archives of Occupational and Environmental Health | 6. 最初と最後の頁 661 ~ 672 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00420-019-01401-y | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 該当する |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Hino A, Inoue A, Mafune K, Hiro H | 4. 巻 61(4) |
| 2. 論文標題 The effect of changes in overtime work hours on depressive symptoms among Japanese white collar workers: a 2 year follow up study | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational Health | 6. 最初と最後の頁 320 ~ 327 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12054 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Imamura K, Tsutsumi A, Asai Y, Arima H, Ando E, Inoue A, Inoue R, Iwanaga M, Eguchi H, Otsuka Y, Kobayashi Y, Sakuraya A, Sasaki N, Tsuno K, Hino A, Watanabe K, Shimazu A, Kawakami N | 4. 巻 9(8) |
| 2. 論文標題 Association between psychosocial factors at work and health outcomes after retirement: a protocol for a systematic review and meta-analysis | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 BMJ Open | 6. 最初と最後の頁 e030773 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2019-030773 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣 | 4. 巻 65(1) |
| 2. 論文標題 あなたの職場組織は「公正」ですか？～組織的公正と労働者の健康～ | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 労務安全衛生かながわ | 6. 最初と最後の頁 14～16 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 Kachi Y, Inoue A, Eguchi H, Kawakami N, Shimazu A, Tsutsumi A | 4. 巻 20(1) |
| 2. 論文標題 Occupational stress and the risk of turnover: a large prospective cohort study of employees in Japan | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 BMC Public Health | 6. 最初と最後の頁 174 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-020-8289-5 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名 Iida M, Watanabe K, Ando E, Tsuno K, Inoue A, Kurioka S, Kawakami N | 4. 巻 62(5) |
| 2. 論文標題 The association between unit-level workplace social capital and intention to leave among employees in health care settings: a cross-sectional multi-level study | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 e186～e191 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000001847 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|------------------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Kachi Y, Eguchi H, Shimazu A, Kawakami N, Tsutsumi A | 4. 巻 2(1) |
| 2. 論文標題 Combined effect of high stress and job dissatisfaction on long-term sickness absence: a 1-year prospective study of Japanese employees | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Environmental and Occupational Health Practice | 6. 最初と最後の頁 eohp.2020-0002 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1539/eohp.2020-0002-0A | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Tsutsumi A, Eguchi H, Kachi Y, Shimazu A, Miyaki K, Takahashi M, Kurioka S, Enta K, Kosugi Y, Totsuzaki T, Kawakami N | 4. 巻 10(8) |
| 2. 論文標題 Workplace social capital and refraining from seeking medical care in Japanese employees: a 1-year prospective cohort study | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 BMJ Open | 6. 最初と最後の頁 e036910 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-036910 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣 | 4. 巻 27(3) |
| 2. 論文標題 職業間における心の健康格差 - 職業性ストレスへのアプローチ - | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 産業ストレス研究 | 6. 最初と最後の頁 309 ~ 318 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Tsutsumi A, Kachi Y, Eguchi H, Shimazu A, Kawakami N | 4. 巻 30(9) |
| 2. 論文標題 Psychosocial work environment explains the association of job dissatisfaction with long-term sickness absence: a one-year prospect study of Japanese employees | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Epidemiology | 6. 最初と最後の頁 390 ~ 395 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2188/jea.JE20190050 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Eguchi H, Inoue A, Kachi Y, Miyaki K, Tsutsumi A | 4. 巻 62(12) |
| 2. 論文標題 Work engagement and work performance among Japanese workers: a 1-year prospective cohort study | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 993 ~ 997 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000001977 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣 | 4. 巻 46(14) |
| 2. 論文標題 職の不安定性と心理的ストレス反応との関連に対する仕事の資源の緩衝効果 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Medical Science Digest | 6. 最初と最後の頁 34(878) ~ 37(881) |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------------|
| 1. 著者名 井上 彰臣 | 4. 巻 4(2) |
| 2. 論文標題 職の不安定性と労働者の心の健康：仕事の資源の緩衝効果 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Precision Medicine | 6. 最初と最後の頁 82(172) ~ 85(175) |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------------|
| 1. 著者名 Hidaka Y, Imamura K, Watanabe K, Tsutsumi A, Shimazu A, Inoue A, Hiro H, Odagiri Y, Asai Y, Yoshikawa T, Yoshikawa E, Kawakami N | 4. 巻 94(6) |
| 2. 論文標題 Associations between work-related stressors and QALY in a general working population in Japan: a cross-sectional study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 International Archives of Occupational and Environmental Health | 6. 最初と最後の頁 1375 ~ 1383 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00420-021-01710-1 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------------|
| 1. 著者名 Eguchi H, Inoue A, Kachi Y, Tsutsumi A | 4. 巻 63(9) |
| 2. 論文標題 Association between adaptation of management philosophy and mission statement, and work engagement among Japanese workers: a 1-year prospective cohort study in a Japanese company | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 e601 ~ e604 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002303 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名 Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Tsutsumi A | 4. 巻 63(10) |
| 2. 論文標題 Organizational justice and cognitive failures in Japanese employees: a cross-sectional study | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational and Environmental Medicine | 6. 最初と最後の頁 901 ~ 906 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002268 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 Oshio T, Inoue A, Tsutsumi A | 4. 巻 63(1) |
| 2. 論文標題 Role ambiguity as an amplifier of the association between job stressors and workers' psychological ill being: evidence from an occupational survey in Japan | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Occupational Health | 6. 最初と最後の頁 e12310 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12310 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計26件 (うち招待講演 0件 / うち国際学会 4件)

| |
|---------------------------------------|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 川上 憲人, 江口 尚, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 精神的不調に対する職の不安定性と役割曖昧さの相乗効果 |
| 3. 学会等名 第90回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Inoue A, Kawakami N, Eguchi H, Tsutsumi A |
| 2. 発表標題 Interaction effect of job insecurity and role ambiguity on psychological distress in Japanese employees |
| 3. 学会等名 6th International Congress of the International Commission on Occupational Health - Work Organization and Psychosocial Factors (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 川上 憲人, 江口 尚, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 企業における組織的公正が労働者の受診抑制に及ぼす影響：1年間の前向きコホート研究 |
| 3. 学会等名 第91回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 アンケートをする前に知っておきたいこと |
| 3. 学会等名 第91回日本産業衛生学会 生涯教育委員会 若手研究者の会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 産業ストレス領域における専門職・機関間の連携推進に向けて - 衛生・公衆衛生の教育研究職の立場から - |
| 3. 学会等名 第26回日本産業ストレス学会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 職場における組織要因と労働者の健康との関連：修飾要因を含めた包括的検討 |
| 3. 学会等名 第30回日本医学会総会2019中部 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 江口 尚, 大塚 泰正, 櫻井 研司, 堤 明純, 中田 光紀 |
| 2. 発表標題 男性労働者における仕事のストレス要因とメタボリックシンドロームとの関連：1年間の前向きコホート研究 |
| 3. 学会等名 第55回日本循環器病予防学会学術集会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 可知 悠子, 堤 明純, 江口 尚, 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 高ストレス判定と離職との関連：人事データを用いた4年間のコホート研究 |
| 3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 飯田 真子, 川上 憲人, 今村 幸太郎, 渡辺 和広, 井上 彰臣, 島津 明人, 吉川 徹, 廣 尚典, 浅井 裕美, 小田切 優子, 吉川 悦子, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 職業性ストレス要因が仕事の生産性に与える影響：前向きコホート研究 |
| 3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 日野 亜弥子, 井上 彰臣, 大須賀 淳, 杉野 美由紀, 脇田 祐実, 野口 裕輔, 真船 浩介, 廣 尚典 |
| 2. 発表標題 時間外労働時間と7つの健康習慣の組み合わせが主観的健康感に与える影響 |
| 3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 江口 尚, 可知 悠子, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 企業における組織的公正と労働者の認知的失敗行動との関連 |
| 3. 学会等名 第92回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 堤 明純, 可知 悠子, 江口 尚, 島津 明人, 川上 憲人 |
| 2. 発表標題 仕事満足度と長期疾病休業との関連：1年間の前向きコホート研究 |
| 3. 学会等名 第26回日本産業精神保健学会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 嶺子, 堤 明純, 井上 彰臣, 江口 尚, 可知 悠子, 荒井 有美 |
| 2. 発表標題 時間外労働時間と精神的健康との関連：単一企業における1年間の縦断研究 |
| 3. 学会等名 第29回日本産業衛生学会全国協議会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 日野 亜弥子, 井上 彰臣, 真船 浩介, 廣 尚典 |
| 2. 発表標題 時間外労働時間と7つの健康習慣の組み合わせが精神的健康に与える影響 |
| 3. 学会等名 第37回産業医科大学学会総会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 職業性ストレス研究のこれまでとこれから |
| 3. 学会等名 日本産業衛生学会 第60回産業精神衛生研究会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 日高 結衣, 川上 憲人, 今村 幸太郎, 井上 彰臣, 島津 明人, 吉川 徹, 廣 尚典, 浅井 裕美, 小田切 優子, 吉川 悦子, 渡辺 和広, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 仕事の要求度コントロールサポートモデル及び努力報酬不均衡モデルとHRQoLの関連 |
| 3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 可知 悠子, 江口 尚, 島津 明人, 川上 憲人, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 高ストレスと職務不満足の影響が長期疾病休業に及ぼす影響：人事記録による縦断研究 |
| 3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 江口 尚, 堤 明純, 井上 彰臣, 可知 悠子, 宮木 幸一 |
| 2. 発表標題 ワークエンゲイジメントの仕事のパフォーマンスに及ぼす影響の検討 |
| 3. 学会等名 第93回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 彰臣, 鈴木 知子, 宮木 幸一, 江口 尚, 可知 悠子, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 自閉症特性と業務パフォーマンスとの関連に対する仕事のコントロールの修飾効果 |
| 3. 学会等名 第36回日本ストレス学会学術総会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 江口 尚, 井上 彰臣, 可知 悠子, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 労働者の経営理念への適応とワークエンゲイジメントとの関連～単一企業での一年間の前向きコホート研究～ |
| 3. 学会等名 第36回日本ストレス学会学術総会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 井上 嶺子, 井上 彰臣, 江口 尚, 可知 悠子, 荒井 有美, 岩田 昇, 堤 明純 |
| 2. 発表標題 時間外労働時間と心理的ストレス反応との関連：1年間の縦断研究 |
| 3. 学会等名 第30回日本産業衛生学会全国協議会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 井上 彰臣 |
| 2. 発表標題 「高ストレス」と「職務不満足」の組み合わせが長期疾病休業に及ぼす影響 - 「高ストレス」の予測力を高めるために - |
| 3. 学会等名 第28回日本産業ストレス学会 |
| 4. 発表年 2020年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 日野 亜弥子, 井上 彰臣, 真船 浩介, 江口 尚 |
| 2. 発表標題 労働時間と血中コルチゾールとの関連に職の不安定性が与える影響 : J-HOPE study |
| 3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Inoue A, Tsutsumi A, Eguchi H, Kachi Y, Shimazu A, Miyaki K, Takahashi M, Kurioka S, Enta K, Kosugi Y, Totsuzaki T, Kawakami N |
| 2. 発表標題 Workplace social capital and refraining from seeking medical care in Japanese employees: a one-year prospective cohort study |
| 3. 学会等名 16th International Congress of Behavioral Medicine (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Inoue A, Eguchi H, Kachi Y, Tsutsumi A |
| 2. 発表標題 Adaptation to management philosophy and refraining from seeking medical care in Japanese employees: a one-year prospective cohort study |
| 3. 学会等名 33rd International Congress on Occupational Health (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Hino A, Inoue A, Mafune K, Eguchi H |
| 2. 発表標題 Combined effects of overtime work hours and seven personal health practices on psychological distress |
| 3. 学会等名 33rd International Congress on Occupational Health (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|--|---------------------------|-----------------------|----|
|--|---------------------------|-----------------------|----|

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 | | | |
|---------|---------|--|--|--|
| 米国 | ハーバード大学 | | | |